

水防演習

(土のうづくり体験)

10月20日(月)、1年生の生徒が防災の授業の一環として、大垣市役所のご協力のもと、杭瀬川スポーツ公園にて水防演習を体験しました。市役所管理課の職員の方々を講師に迎え、実際の災害対応に用いられる「土のう作り」に挑戦しました。

生徒たちは、砂山からシャベルで砂を土のう袋に丁寧に詰め、教わった「方結び」でしっかりと口を結びました。



作業を終えると、敬礼をして終了の報告を行いました。

生徒たちは終始生き生きとした表情で活動に参加し、災害への備えの大切さを実感する貴重な機会となりました。



土のう袋には25kgの砂をつめます。シャベル4～5杯の砂を入れ、計りまで運んで計量します。誤差は±1kg以内。

土のうを正確に積み上げるためには、ひとつひとつの大きさを揃えることが重要だと教わりました。



完成した土のうを積み上げ、専用の器具「タコ」を使って地面を固める作業にも取り組みました。

固めながら積み上げた土のうは、思いのほか頑丈で、押してみても全く動きませんでした。

